



市田ゼミ／研究テーマ候補

貿易が景気に与える影響について

2007年7月12日(木)

今回のプレゼン内容

1. 動機と内容
2. 予想される結果
3. 研究の方法

Ichida Seminar - Waseda University School of Commerce



1. 動機と内容

Ichida Seminar - Waseda University School of Commerce

1. 動機



・2007年7月2日/日本経済新聞 夕刊

「最近の米国経済の減速や金利上昇が(日本の)景気に及ぼす悪影響が懸念され」

・・・アメリカの景気が日本の景気に影響

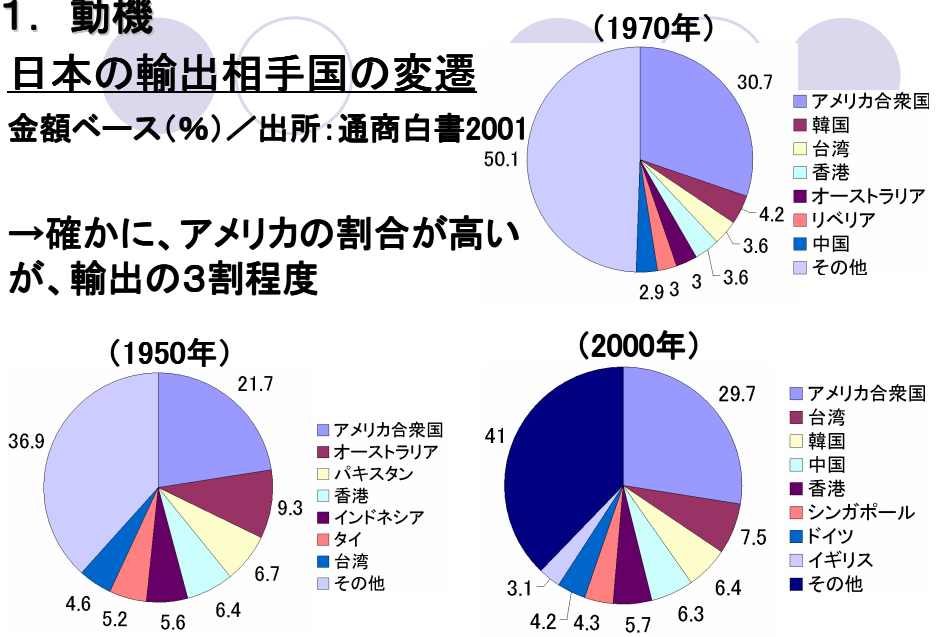
Ichida Seminar - Waseda University School of Commerce

1. 動機

日本の輸出相手国の変遷

金額ベース(%) / 出所: 通商白書2001

→ 確かに、アメリカの割合が高いが、輸出の3割程度



Ichida Seminar - Waseda University School of Commerce

1. 動機

マクロ経済学

・ 日本GDP: $Y_j = C_j + I_j + G_j + EX_j - IM_j$
 仮に、EXが上昇すると、Yも上昇(好況)

日本のEXはアメリカのYに影響される。

→ $EX_j = EX_j(Y_a)$ とおける

→ $Y_j = C_j + I_j + G_j + EX_j(Y_a) - IM_j$

→ $Y_j = f(Y_a)$

Ichida Seminar - Waseda University School of Commerce

1. 動機

マクロ経済学

$$\cdot Y_j = f(Y_a)$$

→アメリカにおいても同様 $Y_a = g(Y_j)$

(例)アメリカの景気悪化→日本の景気悪化→アメリカの景気悪化→日本の景気悪化→アメリカの景気悪化→日本の景気悪化→……

Ichida Seminar - Waseda University School of Commerce

2. 予想される結果

Ichida Seminar - Waseda University School of Commerce

2. 予想される結果

マクロ経済学

経済関係が密接な国の景気の動きは、貿易相手の割合よりも甚だしく影響を与えるのではないか？

(仮の話)

輸出割合10%の相手国の景気に変化したら、Yの変化は相手国の変化の1% (1/10) なら、

30%の国では、例えば、Yの変化は相手国の10%以上 (1/3) になってしまう など

Ichida Seminar - Waseda University School of Commerce

3. 研究の方法

Ichida Seminar - Waseda University School of Commerce

3. 研究の方法

- ・輸出以外の景気決定の条件が、一定であるような統計を収集し、貿易割合と景気動向の関係を調べる。

- ・但し、そんな状態のものは限られるので、日米だけではなく、経済関係が密接なあらゆる国のケースも参考に。

- ・貿易割合や景気のデータ自体は集めやすいのではないか？